2026年11月12日

各 位

上場会社名 株式会社 鶴見製作所
代 表 者 代表取締役社長 辻本 治
（コード番号 6351 東証プライム市場）
問合せ先責任者 常務取締役 管理部門統括 敦賀 啓一郎
（TEL 06－6911－2351）

剰余金の配当（第76期中間配当および記念配当）に関するお知らせ

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、下記のとおり2026年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当および記念配当）を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額 （2027年3月期中間）	直近の配当予想 （2026年5月12日公表）	前期実績 （2026年3月期中間）
基準日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金	16円00銭 （内 記念配当3円）	同左	26円00銭 （内 記念配当2円）
配当金総額	765百万円	－	624百万円
効力発生日	2026年12月10日	－	2025年12月10日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

（注）当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記の前期実績は配当基準日が2025年9月30日となるため、当該分割前（2025年9月30日）の株式数を基準として配当を実施いたしました。

2. 理 由

当社は、中期3ヶ年経営計画「Transformation 2027」の推進の一環として、2026年3月に富士丸産業株式会社を完全子会社化いたしました。

同社は、大型水中ポンプのレンタル、仮設・常設排水設備工事及びポンプ整備に強みを有しております。このたびの子会社化により、近年増加しているゲリラ豪雨や台風、線状降水帯の発生に伴う内水氾濫等の災害対策など、社会インフラ分野における需要拡大への対応力強化を図り、当社の施工・メンテナンス体制の高度化を推進してまいります。

この取り組みは、当社の中長期的な企業価値向上および持続的成長に資するものと考えております。株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、これを記念し、中間配当につきまして1株当たり3円の記念

配当を実施いたします。

当社は、株主の皆様への利益還元について、長期的な視点に立った積極的な事業展開に必要なキャッシュ・フローを確保しつつ、安定的な配当を継続することを資本政策の基本方針としております。また、累進配当方針を継続し、利益成長を通じて配当総額の拡大を目指してまいります。

今後も、当社は社会インフラに必要とされる製品づくりを通じて皆様のご期待に沿えるように製品供給に万全な体制を整備し、社会貢献を図ってまいります。

富士丸産業株式会社 公式ホームページ
URL:https://fujimaru.org/company/

(ご参考)年間配当の内訳

	1株当たり配当金		
基　準　日	第2四半期末	期　　末	年　　間
配当予想 (2027年3月期)		20円00銭 ※内　記念配当4円	36円00銭 ※内　記念配当7円
当期実績 (2027年3月期)	16円00銭 ※内　記念配当3円		
前期実績 〈株式分割前換算〉 (2026年3月期)	26円00銭 ※内　記念配当2円	16円00銭 〈32円00銭〉 ※内　記念配当1円	―

(注1)　当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期配当金は、2025年9月30日を基準日とする第2四半期末については当該株式分割前の金額を記載し、期末については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の1株当たり期末配当金は32円、1株当たり年間配当金は58円となります。

(注2)　記念配当の内容は次の通りとなります。

2026年3月期　第2四半期末配当 ： アロイテクノロジー南部町事業所新鋳造工場竣工記念配当
2026年3月期　期末配当 ： チリ共和国現地法人、並びにタイ王国における東南アジア(液封式真空ポンプ)駐在員事務所開設記念配当
2027年3月期　第2四半期末配当 ： 富士丸産業株式会社の株式100%取得記念配当
2027年3月期　期末配当 ： 京都工場リニューアル記念配当(予定)

以 上